

# 2019年度日本マスターズ水泳短水路大会 相模原会場ご案内

本年度の日本マスターズ水泳短水路大会は、参加者数 1,303 名となりました。多数のお申し込みありがとうございました。

本大会の全競技を円滑に終了するためには、参加者の皆様のご協力が不可欠です。

つきましては、参加者一人一人の皆様に、下記の事項についての周知徹底をよろしくお願いいたします。

## 主催者・主管からの連絡事項

■この度、開催要項では2面使用で競技運営を行う予定とお伝えしておりましたが、競技は1面開催に変更をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）（カッコ内：競技規則条項）

出発について（背泳ぎを除く）

- 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。（第4条1項）
- 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（第4条1項）
- 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁につける。（第4条1項）

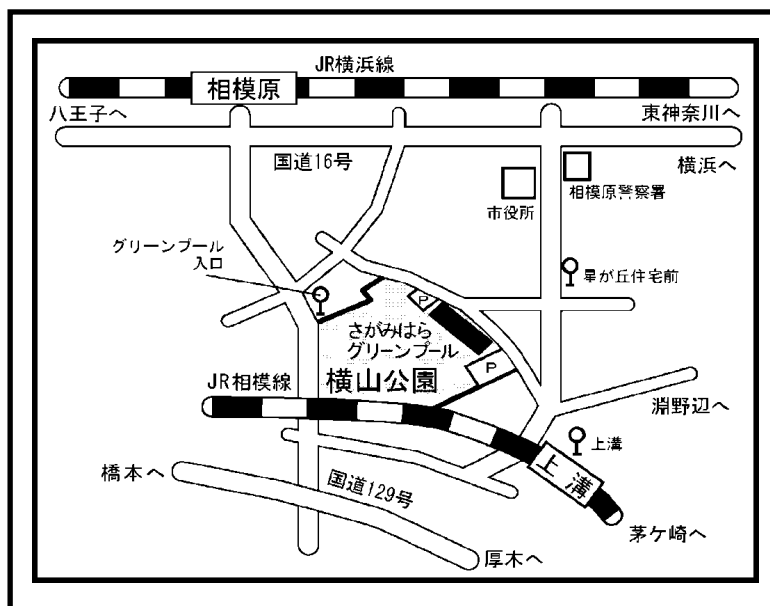
## 1. 大会会場

「相模原市立総合水泳場（さがみはらグリーンプール）」（公認 25m×8 レーン×2 面）

神奈川県相模原市中央区横山 5-11-1

＜交通機関＞

- ・JR相模線「上溝駅」徒歩10分、JR横浜線「相模原駅」バス約8分



## 2. 大会日程／競技スケジュール

No		種目	組数	時間	N o		種目	組数	時間
1	女子	200m個人メドレー	5	8:45	20	女子	25mバタフライ	11	13:19
2	男子	200m個人メドレー	6	9:07	21	男子	25mバタフライ	9	13:29
3	女子	100mメドレーリレー	3	9:34	22	混合	100mメドレーリレー	5	13:37
4	男子	100mメドレーリレー	3	9:43	23	女子	100m個人メドレー	11	13:49
5	女子	100m自由形	8	9:50	24	男子	100m個人メドレー	14	14:16
6	男子	100m自由形	13	10:10	25	女子	200m自由形	7	14:50
7	女子	100m背泳ぎ	6	10:35	26	男子	200m自由形	7	15:17
8	男子	100m背泳ぎ	6	10:50	27	女子	50m自由形	16	15:41
9	女子	100m平泳ぎ	9	11:03	28	男子	50m自由形	21	16:01
10	男子	100m平泳ぎ	8	11:27	29	女子	50m背泳ぎ	8	16:24
11	女子	100mバタフライ	5	11:45	30	男子	50m背泳ぎ	7	16:36
12	男子	100mバタフライ	5	11:59	31	女子	50m平泳ぎ	9	16:47
13	混合	100mフリーリレー	16	12:09	32	男子	50m平泳ぎ	13	17:00
14	女子	25m自由形	16	12:20	33	女子	50mバタフライ	6	17:16
15	男子	25m自由形	10	12:35	34	男子	50mバタフライ	9	17:25
16	女子	25m背泳ぎ	7	12:47	35	女子	100mフリーリレー	3	17:35
17	男子	25m背泳ぎ	7	12:59	36	男子	100mフリーリレー	3	17:42
18	女子	25m平泳ぎ	9	13:05					
19	男子	25m平泳ぎ	7	13:11			競技終了		17:48

### 3. 開場時間 7:30

### 4. 会場案内図 別紙参照

### 5. IDカード／受付／チームリーダーミーティング

#### < IDカード >

- (1) 参加選手は、2次要項と一緒に届くIDカードを必ず受け取ってください（チーム責任者は、必ず各選手にお渡しください）。  
IDカードは、日本マスターズ水泳短水路大会相模原会場の参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付、メダルの受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、会場では首から下げるなど見える位置に必ず携帯してください。
- (2) IDカードの裏面の大会当日緊急時の連絡先（参加選手のご家庭に緊急の連絡を要する場合に連絡の取れる連絡先）を忘れずに記入してください。
- (3) 「IDカード」を紛失や忘れた場合は再発行所にて再発行を受けてください。  
再発行料として各500円が必要となります。

## < 受付 >

「チーム受付票」は、チーム責任者または代表者が会場へ持参してください。大会期間中に大会受付へ提出し、参加者分の参加賞・プログラム（申込分）と引き換えます。  
プログラムに記載されている氏名・種目等を必ず確認してください。プログラムの印刷ミスがあった場合は、チーム責任者が指定用紙に記入のうえ、該当競技の開始2時間前までにインフォメーションデスクに提出してください。

## < テクニカルミーティング > (チームリーダーミーティング)

5月 3日 (金・祝) 7:50 ~ 招集所  
競技についての詳細と変更事項をご連絡します。  
必ずチームの代表者または代理の方が出席し、連絡事項を出場選手全員に伝えてください。  
※ その他、変更事項・連絡事項がある場合は公式掲示板にてお知らせします。

## 6. 競技方法

- (1) (一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り実施します。
- (2) 男女別(混合リレーを除く)および原則として、年齢区分別に高年齢から低年齢へ、タイムの遅い組から速い組への順に行ないます。
- (3) 組み分けされている種目で棄権者が多数出た場合、前後の組と合同で競技を行う場合があります。
- (4) 競技時間はあくまで予定です。競技時間は競技の進行状況により前後します。電光表示板には、実施種目と組が表示されています。招集受付に遅れると棄権扱いとなりますので、競技の進行を確認し遅れることのないよう招集所へお越しください。

## 7. ウォーミングアップ/公式スタート練習

大会期間中は、メインプール、アッププールの定められた時間で、ウォーミングアップが可能です。ウォーミングアップについては、下記一覧ならびに注意事項を参照してください。

ウォーミングアップ		
メインプール	アッププール	公式スタート練習
7:35~8:25	7:35~競技終了 (開会式の時間は、アップは出来ません)	8:00~メインプール (25m競技スタート側からのスタートになります)

※ 公式スタート練習の指定レーン変更の場合は、当日通告より発表します。  
なお、公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。

## 8. 開会式 8:30から開始いたします。

## 9. 招集

- (1) ご自分の出場する組がコールされたら、ただちに、招集員にIDカードを提示し、水着の確認を受け、指示に従い並びます。招集では、IDカード(裏面:大会当日緊急時の連絡先の記入がないものは無効)が必要です。  
※ ご自分の組・レーンは忘れないように、また、間違いのないように申告してください。組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となります。
- (2) 招集所へは、自分の出場する種目、25m・50m競技は組の12レース前、100m競技は8レース前、200m競技は4レース前までにお越しください。電光表示板には現在行われている競技種目と組が表示されますので、必ず確認のうえ、招集に遅れないように注意してください。  
※ 最初の種目の招集は、8:40より開始します。
- (3) 25m種目に出場された選手のIDカードは、IDカード返却デスクにて返却します。レース終了後、必ずIDカード返却デスクに立ち寄り、ご自分のIDカードを確認しお持ち帰りください。取り違いによるトラブルが多く発生しています。他の選手のIDカードと間違わないように注意してください。

## 10. スタート・プールからの退水方法

### <スタート>

- (1) 25m種目を除き、オーバー・ザ・トップ方式で行います。
- (2) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお願いします。
- (3) 前の組がスタートしたらただちにスタート台の後ろに並び、計時員にご自分の名前を伝えレーンを確認してください。
- (4) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。

### <プールからの退水方法>

- (1) 競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。
- (2) 25m種目を除き、ゴール後はレーンロープにつかまり水中で待機し、次の組がスタートしてから退水します。25m種目は次の組がスタートしていますので、速やかに退水します。
- (3) 1～4レーンの泳者は1レーン側、5～8レーンの泳者は8レーン側へ移動して退水してください。競技役員から指示のあった場合は、その指示に従ってください。

## 11. リレー種目

- (1) リレーオーダーを変更する場合（締切時間内に1回のみ）は、「リレーオーダー変更届」をインフォメーションデスクに提出してください。  
※ 種目・年齢区分の変更はできません。  
※ 同一リレー種目には、年齢区分に関わらず1人1回しか出場できません。  
※ オーダー変更締め切り後の泳者および泳者順序の変更は認められません。
- (2) 招集所へは、4名揃って集合してください。4名揃っていないと招集を受けることができません。
- (3) リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、出場申告用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクへ申告してください。申告がなく水中からスタートした場合は、失格になります。

		種 目	締切時間
No. 3・4	男女	4×25mメドレーリレー	8 : 1 5
No. 13	混合	4×25mフリーリレー	9 : 4 5
No. 22	混合	4×25mメドレーリレー	1 0 : 3 0
No. 35・36	男女	4×25mフリーリレー	1 4 : 0 0

## 12. 表 彰／記 録

- (1) 出場選手全員に参加章ならびに公認記録証を授与します。
- (2) 公認記録証はマスターズ協会 WEB からの出力となります。
- (3) 各種目の年齢区分ごとに、個人種目・リレー種目とも3位までの方にメダルを授与します。入賞された方は、IDカードまたはマスターズカードを提示しお受け取りください。
- (4) 各種目の男女すべての組の競技終了後、約30分後をめどにその種目の男女別、年齢区分別のランキングを公式掲示板に掲示します。
- (5) 日本記録・世界記録の公認には、F I N A承認水着の着用が必須です。世界記録を突破された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピー」または「住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要になりますので準備してください。
- (6) マスターズ水泳日本記録を突破した選手およびリレーチームには「日本新記録樹立証」を、国際水泳連盟（F I N A）認定のマスターズ水泳世界記録を突破した選手は「世界記録突破証」を授与します。

## 13. 申 告

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は出場種目開始予定時間の1時間前までにインフォメーションデスクに申告してください。審判長が確認し判断をします。

「出場申告用紙」が必要な申告

- ① テープ等をされる方
  - ※ 競技規則上、テープ等は認められません。
  - ※ やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください（指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は基本的に許可できません）。
- ② 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
  - ※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
- ③ 出場に介助が必要な方
  - ※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。
- ④ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

「世界記録申請用紙」が必要な申告

- ⑤ 世界記録に挑戦される方
  - ※ 「世界記録申請用紙」に必要な事項を記入のうえ、申告してください。

#### <異議申し立てについて>

異議申し立て（抗議書の提出）は、チームの責任者が行ってください。

競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のある時はそのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、**抗議料5,000円**を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で裁定します。また、**抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。**なお、チーム等により撮影された映像を裁定に使用することはできかねますのでご理解の程お願いします。

その他、違反内容の問合せについては選手本人からでも可能です。指定用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクにお申し出ください。

#### 1.4. 施設利用上の注意

##### <開場時の注意>

- (1) 選手および付添者の入退場は、入場時に「IDカード」を提示してください。提示のない場合は入場できません。
- (2) 開場時チーム関係者が場所取りのために会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。
- (3) 前日から入場口前に並ぶことはできません（当日の朝5時以降可）。

##### <施設利用上の注意>

- (1) 観覧席等は、各チーム譲り合って利用してください。毛布・シート・荷物等による観覧席の場所取り（イスの確保）は禁止です。イスの上や横に「チーム名入りの紙」「小荷物」等を置いている場合は、場所取りと判断します。この場合は、会場係が注意しますので指示に従ってください。ポールによるのぼり旗（チーム旗）は、禁止とします。会場内では、警備員・競技役員の指示に従ってください。
- (2) 観覧席の最前列は転落防止のため使用禁止とします。最前列には入らないようお願いします。
- (3) 更衣は必ず更衣室を使用してください。プールサイド・更衣室以外を水着で通行することもご遠慮ください。
- (4) 更衣室のロッカーは数に限りがあるため、貴重品保管用として使用します。個人での使用はできません。更衣室は更衣のみの利用とし、更衣後の荷物等は各自で管理をお願いします。貴重品保管用ロッカーの使用を希望するチームは、別紙「貴重品保管用ロッカーのご案内」を確認のうえ、お申し込みください。盗難等については一切責任を負えません。最近特に、競技場における盗難事故が多発していますので注意してください。

- (5) 館内で撮影を希望する場合は、撮影許可証が必要です。別紙「撮影許可申請書の提出について」を確認のうえ、お申し込みください。
- (6) 館内の通路は水にぬれると滑りやすくなります。十分注意してください。
- (7) マスターズスイマーとして、マナーを守り館内をきれいに利用しましょう。ごみ等は、各自でお持ち帰りください。
- (8) 以下のことは禁止します。
  - ① 火気の使用
  - ② 喫煙（喫煙は指定の場所のみ）
  - ③ 会場内外でのテーブル類、くぎ、画びょう等の使用
  - ④ **ビン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み**
  - ⑤ 会場内電源の使用

#### 15. 健康管理

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。水分不足には十分注意し、こまめに水分補給をしてください。
- (2) 会場内で、体調不良や怪我をした場合は、医務室にて応急処置を行います。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) マスターズキーワード9の実践をお願いします。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

#### マスターズ水泳キーワード9

マ	マイペース	ゆうゆう大きな	ストローク
ス	進んで受けよう	メディカルチェック	
タ	タイムより	楽しい水泳	健康づくり
(ア)	頭を使って	泳ぎの工夫	
ズ	ずっと前の	若さと力	あてにせず
す	睡眠	食欲	体調チェック
い	いつも練習	あつてこそ	楽しいレース
え	エイここで	退く勇気が	大人の水泳
い	いい笑顔	気力も充実	輝く高年

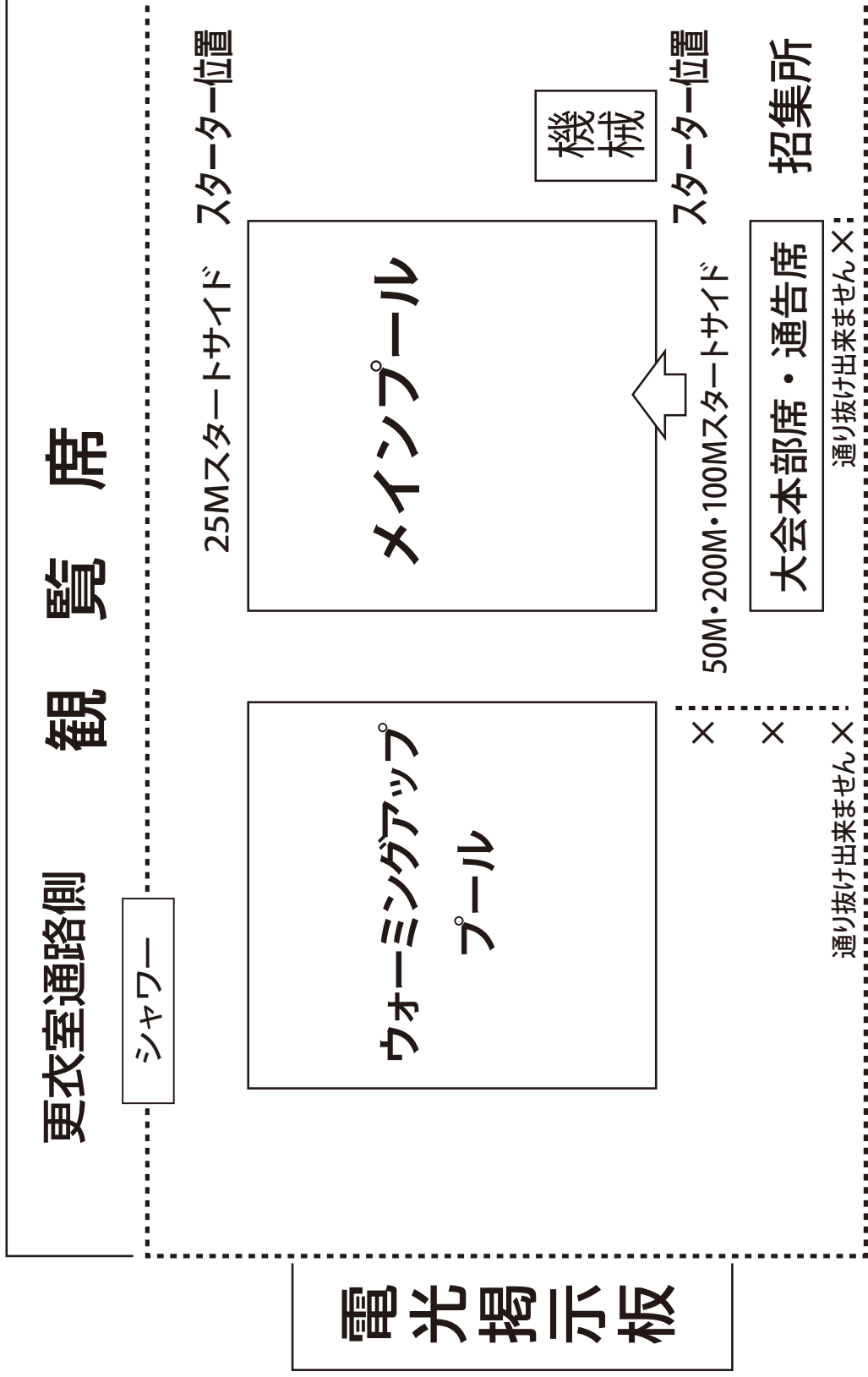
公益財団法人 日本水泳連盟医事委員会  
 日本水泳ドクター会議  
 一般社団法人 日本マスターズ水泳協会

## 16. その他

- (1) お申し込み時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先は、事故・怪我の発生など万一の際に実行委員会で使用します。これらの目的以外で使用することはありません。  
チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
  - ① 責任者が会場へ同行される場合  
出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
  - ② 責任者が会場へ同行されない場合  
大会当日、緊急時に選手のご家族等に連絡が取れるよう準備してください。

※ 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (2) 大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (3) 大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加賞（キーホルダー）」「プログラム（申込み分）」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。
- (4) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて  
本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。
  - ① 個人情報
    - ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
    - ・ 競技結果としてホームページ等の媒体に掲載します。
  - ② 肖像
    - ・ 大会報告としてホームページ等の媒体に使用します。
    - ・ 以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
    - ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。
- (5) 競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

# 会場図



電光掲示板

観覧席